



日本の滝百選



広報

かじき

人口・世帯の動き
(平成10年1月1日現在)

総人口23,511人 (4) 出生 11人
男 10,898人 (5) 死亡 15人
女 12,613人 (▲1) 転入 77人
世帯数 8,733 (7) 転出 69人

※() 内は前月との比較※

題字 宇都宮町長



一九九八年
頌春

[私の年です。よろしく……(ベンガルトラ、平川動物公園で)]

平成10年

1月号

今月のページ

町長・議長・新年のあいさつ	2~3ページ
議会報告・弥勒窯跡発掘	4~5ページ
介護保険フォーラム・師走市	6~7ページ
ナンコ大会・ジョギング大会	8~9ページ
広域都市圏・確定申告	10~11ページ
悪徳商法にご用心	12ページ
がんばっています・山林組合	13ページ
リックのさくさく・椋鳩十	14~15ページ
お知らせ	16ページ



おめでとろございます

「まちづくり、に全身全霊」を

加治木町長 宇都宮 明 人



新年あけましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい平成十年の新春を、ご家族お揃いでお健やかに迎えのことと、心から喜び申し上げます。

また、皆様方には、平素から町政の各般にわたり、何かとお力添えを賜っておりますことに対しまして、衷心から厚く御礼を申し上げます。

さて昨年は、地方分権や行財政改革の推進など、地方自治体を取り巻く情勢が大きく変化した年でもございました。

すなわち、地方自治体自らが、独自の政策を作り上げてゆく能力が、地域の実情に合わせた「まちづくり」の計画を樹立し、それを推進してゆく力量を持つことが求められており、それが

できる自治体とそうでない自治体との格差が、今後、大きく開いてゆく時代を迎えております。

また、一方では、産業廃棄物の処理や介護保険法等に見られるように、一つの自治体では解決し得ないような問題も発生いたしており、行政の効率化を図る上からも、広域的な協力・連携体制の充実を図る必要もあると言えます。

このような時に当たり、加治木町におきましては、昨年、小山田地区の活性化を図るため、ふるさとづくり事業により「加治木龍門陶芸・健康の里」づくりに着手いたすことができました。

この事業は、四百年の歴史をもつ龍門司焼を後世に残すため、陶芸体験を核として、研修棟や健康センター棟、運動広場や屋根付きゲートボール場、屋外ステージ等を配し、体と心の健康づくりに役立たせる施設でございます。

ここには、雇用促進事業団の住宅建設も予定されております。

また、一昨年オープンいたしました加音ホールも、「教育と文化の町」にふさわしい、町民の文化の殿堂として、稼働率においても他に類をみない高さを示しており、住民の皆様に対し、優れた芸術・文化の鑑賞の機会を多く提供出来たと自負いたしております。

このほか、町民の健康増進や、児童・高齢者の福祉の充実、生活環境の整備、年次計画に基づく道路や街路網等の整備事業、また、住宅建設等の住環境の整備や農林業や商工業、水産業の振興、とさへすりの森を核とした森林資源の活用によるレクリエーション環境施設の整備など、本町においても克服すべき多くの課題を抱えており、町民お一人一人が、今、何をなすべきかを考え、自己啓発を図りながら、諸課題に総合力で対処してゆくことが、最も肝要であると存じます。

私も新しい年を迎え、今後とも行財政改革の推進に努めながら、変化する状況に的確に対応し、町を牽引する所業の施策を積極的に展開するとともに、まちづくりに全身全霊をかたむけて頑張っていきたいと思っておりますので、皆様方のさらなる御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のますますの御健勝と、本年が皆様方にとりまして良い年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

の

1998年 明けまして

「信頼される議会づくり」を

町議会議長 兼 田 勝 久



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、新しい年、新しい健康やかな新春をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

さて今年は一九九八年、二十一世紀の躍動に向けて準備をする残り二年間の幕開けであります。正直なところ、昨年も増して今年も大変に不透明な年になるものと予想されます。昨年の出来事を振り返りますと、政治の舞台では政界の離合集散による政権のねじれ現象や、数千年振りといわれる中央省庁の大改編への序章、また、経済においてはバブル景気をもたらし大蔵省や金融機関の誤りを、今後は一転して「貸し渋り」をすることで戦後類のない大型倒産の続出、そして中小企業や国民にその責任を転嫁するかのような政策の下、抜付道のない平成不況となっております。

地球的には民族や宗教の名の下に覇権を争う地域間紛争の続発や、十二月にもかかわらず春を思わせる温暖化現象に対する日本のかかわり、国内的には神戸の中学生殺傷事件や学校内におけるいじめや暴力事件への対応、そして少子・高齢化社会の到来で今後の福祉や医療がどのような制度に出来上っているのか、大きな関心事となっております。

また、春から夏にかけて発生した川薩地方の地震災害や出水郡針原地区の土石流災害、吉松町の水害等を教訓とした災害に強い町づくり等、数え上げればキリがありません。

この様な中、住民要求も当然の事として多様化、高度化してきており、行政の役割と任務はさらに重要性を増してきております。それは政府の行財政改革路線の中で、中央と地方の役割分担の明確化が求められ、地方分権として多くの行政権限が地方に委譲されつつある事にも表わされています。

一方、住民ニーズが多様・多様化し行政権限が増大していく中、それに応える地方財政は決して十分ではなく、むしろ年々厳しくなってきております。

また、今年度の大きな施策の一つとして、高齢者福祉政策の延長線上に介護保険制度の導入が図られる事になりましたが、その対応にも多くの問題が含まれております。

このような時、行政側の一人歩きや一方的な施策ではなく、町民一人一人が知恵を出し、汗をかくて、行政と一体となって町づくりを進めていかなければなりません。

町民参加の町づくりの例として、PAC（加治木町若年経営者の会）が高齢化社会に対応する町づくりをどう進めるかの米国研修の報告会を行ったり、「たかんばつちよ会」や「加治木がらす会」が町内の各種イベントに参加し、そして自らがイベントを主催する等の活動を行っております。

また、文化会館を核として劇団や少年少女合唱団の誕生等、様々な文化団体の旗揚げも、まさに町民一人一人が知恵を出し汗をかくて、町づくりを進める具体的な動きといえるものです。高齢化社会への対応、青少年の健全育成、災害に強い町づくり、経済活動の振興等、地方行政の課題が山積する中、町民の声を大事にしながらい行政の役割をしっかりと見つめ、二十一世紀にむけて希望のもてる年にしたいと願うものであります。

議会報告

〔第四回定例会〕

一般会計補正予算

一億五百三十六万一千円

一般会計予算総額

七十億四百六十七万五千円

第四回町議会定例会は、十二月九日から十九日まで十一日間の会期で開催され、一般会計補正予算を一億五百三十六万一千円増額、予算総額を七十億四百六十七万五千円としました。

「加治木町町営住宅管理条例の全部を改正する条例制定の件」や「国土利用計画加治木町計画を定めるに当たって議会の議決を求める件」など議案十二件を可決承認しました。

林業構造改善事業に 五千六百八十七万円

今回の補正で主なものは、平成八年度から整備を進めている「さえずりの森」の整備を図るための工事請負費とそれに係わる委託料・事務費等の五千六百八十七万円です。この事業は、平成十一年度完成を目指していましたが平成十年度予算の前倒しの形で平成九年度追加が認められたものです。



婦人のエミコさんに伝達

丸岡順一郎氏を委嘱

心配ごと専門相談員



日常生活における様々な心配ごとや、悩みなどでお困りの方に、親身になって適切な助言などをおこなっている「心配ごと相談員」がいることを皆さんご存じでしたか？

今回、新たに「特別相談員」を迎え、より専門的で、きめ細

かな相談ができるようにと十二月二日、丸岡順一郎さんに宇都宮町長から委嘱状が交付されました。

丸岡さんは、二十年間検事を務められ、昭和六十年から十年間鹿児島公証人役場の公証人をされ、また平成七年には勲三等瑞宝章を受章されております。

任期
平成九年十二月一日から
平成十年十一月三十日までです
お気軽にご相談下さい。

勲六等単光旭日章を受章

故・東 藤男さん

元・町議の故・東藤男さんが勲六等単光旭日章を受章され十二月二十六日、宇都宮町長から夫人の東エミ子さんに伝達されました。

また、昭和四十一年七月から昭和五十八年四月までのうち二期六年にわたり農業委員会委員も務められました。

プロフィール

昭和四十二年五月から昭和五十八年四月まで、加治木町町議会議員として四期十六年にわたる職責を全うされ、町と地域住民のパイプ役として地方自治の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

〔賞 罰〕

昭和十五年勲七等青色桐葉章・昭和十九年勲六等瑞宝章・昭和二十年叙正八位・昭和五十七年県町村議会議長会表彰・昭和五十八年全国町村議会議長会表彰・平成九年十一月九日死去81歳

江戸時代のロマン今ここに 薩摩焼最大級の古窯発掘

木田の弥勒に、約二百年前に七年間だけ稼働していたとみられる、薩摩焼の古窯が調査発掘され、当時の様子が明らかになるにつれ、地域住民や、考古学ファン、陶磁器愛好家の話題になっています。

弥勒窯跡は、昭和九年に発見されましたが、調査がされないまま昭和四十一年に町指定文化財「史跡」に指定されました。

しかし、たび重なる大雨により、徐々に窯跡が浸食される状態にあったため、町では窯の残存状態や規模などを早急に確認する必要があると考え、十一月中旬から調査に入っていたものです。

窯跡は、湯湾岳と猫岳の山間部の斜面を利用して階段状に造られており、下部の焼成室（窯の一番下にあり、ここで火をたいて窯を温める所）が一部宅地造成で壊れて確認はできませんが、推測すると部屋が五〜六室あった「連房式登り窯」と言われています。

また、窯跡を図面上で復元すると全長約二十メートル、上部幅六メートルもある大窯で、薩摩焼の窯としては最大級ではないかと言われ、現在小山田にある竜門司焼の窯が二個すっぽり入るぐらいの大きさです。

今までは、川内市にある平佐の大窯（四・五メートル）が、薩摩焼最大級の窯とされていましたが、比較してみても弥勒窯はそれより幅で約一・五メートルも大きいことがわかりました。

また、この窯は一七八六年から加治木島津家が七年間染付磁器を焼いた跡で、当時竜門司焼の陶工に命じ、焼き物の先進地だった肥前で研修を重ねさせ、技法を持ち帰り、磁器を大勢の人々で大量生産していた事や、技術者を肥前から招いていたこともわかっていきます。

十二月二十一日には現地説明会が開催され、町内はもちろん鹿児島市内からも熱心な考古学ファン八十人が訪れ、写真を写したりメモを取ったりしながら

熱心に聞き入っていました。

同自治会の鹿屋兼光さん（68歳）は、「古窯があるのは聞いていました。しかし、こんなに重要な意味を持つ窯とは説明を聞いて初めて知りました。もっと勉強してみたい」と。また、町社会教育課の関一之文化財担当者は「加治木町にはこの窯跡をはじめ、十数基の窯跡が知られています。この窯元は薩摩焼の歴史を物語る貴重な証人ですが、このような遺跡が時代を追って連綿と存在することが加治木町の大きな特徴です。」

薩摩焼の研究は他の地方に比べ大きく遅れていると言われていますが、加治木町にはそれを補うことのできる大切な窯跡がたくさんあることを知ってほしい」と話していました。

この窯は十二月二十二日から現状のまま埋め戻しされ、ロマンを秘め再び永遠の眠りにつきました。

問い合わせ先・役場社会教育課
☎0995-1621211

弥勒窯跡



想像をめぐる説明を聞く参加者たち

二〇〇〇年四月施行・まだ多い疑問点

「介護保険フォーラム」開催

四十歳以上のすべての国民を対象に保険料を徴収し、寝たきりや痴呆状態の高齢者などの介護サービスを行う「介護保険法」が十二月九日衆議院本会議で可決成立したのは皆さんご存じだと思います。

この法案の成立により、2000年四月からの介護保険制度開始が確定し、運営主体となる市町村役場は施行に向け、介護保険事業計画の策定や、介護支援専門員の養成などこれから具体的な準備作業に入ることになります。

マスコミ報道によりますと、この制度は、まだまだ問題点や課題が山積していると言われており、少しでも内容についてわかりやすく理解してもらおうと十二月十四日、加治木工業高校体育館で、町内外の高校生からお年寄りまで約六百人の聴衆を集め「介護保険フォーラム」が開催されました。

「わかりやすい介護保険」と題し、鹿倉芳男川辺福祉事務所地域福祉課係長が講演。



熱心に討論するパネラー

まず制度創設のねらいは、老後の最大不安要因である介護を社会全体で支えることや、65歳以上の人が一号被保険者になること。利用手続は、市町村が介護認定審査会の審査判定結果に基づき要介護認定や要支援認定を行うことなど、また、保険給付の内容や利用料、費用など多岐にわたり説明がありました。

最後に、五人によるパネル討論が行われました。パネラーは運営主体となる市町村を代表して宇都宮町長、医師の立場から大久保直義さん、施設を提供する側から徳田芳郎さん、ホームヘルパーの立場から井上孝子さん、家族介護経験者から西スミ子さんでそれぞれの立場から問題点や今後の取り組み方について十五分ずつ発表。討論のあと司会が「各市町村間で均衡が保たれるよう、また、平等に福祉が受けられるようにしていかなければならない」とまとめ終了しました。

書籍50万円相当を寄付

母校永原小に

永原出身の(故)内村民夫さん

「自分が生まれ育った地で、また、母校でもある永原小学校に何か形のあるものを寄付したい」と生前に話していた故内村民夫さんの意思を継いで、書籍三百冊(五十万円相当)を寄付された弟の洋昭さん(永原在住)に十二月十日、学校創立百二十周年学習発表会の場で感謝状の贈呈式がありました。

民夫さんは、千葉県の高校で教鞭をとられており、帰省した時など永原小学校のプールで泳いだり、運動場を走ったりと、ふるさと永原をこよなく愛しておられたそうです。退職を前に常々「永原小学校に何か形に残るものを寄付したい」と口にされておられたそうですが、昨年二月不慮の事故で帰らぬ人となられました。弟の洋昭さんと千葉のお姉さんが話し合い、願いをぜひ実現させてやりたいと、このたびの贈呈となったものです。

同校六年の外村佳奈さんは、「内村さんの寄付してくれた本は、ほとんどが高そうなものばかりでとても感謝しています。私もこの内村さんのような卒業生になりたいです」と、また、上赤校長は「内村民夫文庫としてコーナーを設け子どもたちの為に大事に活用していきたい」と話していました。ほんとうにありがとうございました。



感謝状を受けられる弟の洋昭さん

「ほかほか」陽気にさそわれて

シャトルバスも運行

師走市と龍門司焼まつり

恒例の師走市（かもだ通り商店街組合・酒匂久輝理事長）が十二月十三・十四日の両日、蒲生田通り商店街で行われ、町内外から大勢の人が繰り出し、ほかほか日和の中多彩なイベントで二日間を楽しみました。

これは、「近年町外に大型店舗がオープンし、町内での消費が減るのを少しでも防ぐ」と、商店街と消費者のふれあいの場を設け、さらなる活性化を深めることを目的に開催されたものです。

商店街には、多くの露店が立ち並び、「ほかほか師走市」と銘打った今年は、サッポロビール、夜明けを造り、日本最初のビール工場の創設者でもあり、西南の役では加治木大砲隊を率いて奥州・函館を転戦した「村橋久成」と、それらに関連するパネルと大砲を展示。北海道物産の毛ガニなども販売され、訪れた人々はめずらしそうに買い求めています。

* 龍門司焼まつり

今年から、「師走市を見たら龍門司まで」と、商店街から窯元までシャトルバスが三十分間隔で運行され、多くの方々が利用していました。

窯元入口には、竜門小学校の五、六年生が体験学習で製作した龍門司焼の湯呑みや皿、陶磁器の製作過程などをパネルで展示。加治木饅頭や、キャロットジャム、シクラメンの花なども販売されていました。

工房には、十日に窯だしされた三彩や、さめ肌などの皿、花瓶など所狭しと展示され、町内はもとより遠くは東京、大阪などから訪れた磁器マニアは、一つ一つ手にとり見比べたり、美しさのために息をついたりさまざまでしたが、お目当ての品が見つかるさつそく買い求めています。



美しいつぼですネ



あふれんばかりの人だかり

加治木望岳園等にブリ寄贈

—— 錦海漁協 ——

錦海漁業協同組合（脇田郁穂組合長）は十一月二十七日、高井田にある望岳園に、養殖ブリ六匹をプレゼントしました。

これは、自分たちの養魚場で育てた生きのいい魚を食べてもらい、元気で長生きしてもらおうと、その日の朝捕れたものを持参したものです。

お年寄りたちは、一足早いクリスマスプレゼントに皆さん大喜びの様子でした。

このほか、郡内の二施設にもプレゼントしました。

アサリの稚貝放流

錦海漁協（脇田郁穂組合長）は十二月九日、加治木町沖と始良町沖にアサリの稚貝四トンを放流しました。

これは、両町が毎年実施しているもので、春には大きくなり一般に潮干狩りとして開放される予定です。

昨年も時期になると、どこに姿を消すのか貝がいなくなり、潮干狩りが中止になっており、今年こそはと祈りながら放流していました。



早く大きくなってネ



とれたてですヨ

季節の風物詩

あによじやが・げたん目じや

賑やかにナンコ大会

年末の恒例行事「薩摩ナンコ加治木支部大会」が十二月十二日夜、町商工会館でにぎやかに開催されました。

これは、「町民の融和と薩摩ナンコの普及」を目的に、町内外から三十七団体、百二十八人が参加し、今年で二十六回目。

会場は焼酎のにおいと、ナンコ玉の音、また取り囲んだ応援団の声援で熱気ムンムン。

予選は、三本勝負(二本先勝)

で、決勝戦は七本勝負(四本先勝)で行われ、結果は次のとおりでした。(表彰は二位まで)

個人の部

優勝

西倉 厚 (四段)

二位 分部 省吾

女性の部

優勝

郡山 さとみ

団体の部

優勝

消友会

朝日生命

地域住民に年越しの手打ちソバを振舞う

— 垂之口自治会 —

師走も押し迫った十二月二十一日、垂之口公民館前広場で手打ちソバ作りが盛大に行われました。

これは、「お年寄りや子どもたちにソバを食べてもらい、元気に年を越してもらいたい」と始まったもので今年で四回目。早朝から青壮年部と婦人部の

有志が分担し合い、汗だくでソバ十キロを打ち上げ、昼ごろ公民館に集まってこられた人々に温かい手打ちソバを振る舞いました。

お年寄りたちは「有り難いこっじや、これでよか正月が迎えられもんぞ」と満足そうにソバの味をかみしめていました。



うまかソバが打てそうです



負けたかも??

第30回

義弘公奉賛

弓道・剣道大会

第三十回を迎えた義弘公奉賛武道大会は十一月三日(弓道大会)と二十三日(剣道大会)がそれぞれの会場で行われ、県内外から多くの参加者が集まり盛大に開催されました。



弓道大会



剣道大会

町営弓道場・加治木中体育館

参加者

中学生男子36チーム(百八人)

女子40チーム(百十九人)

高校生男子27チーム(八十一人)

女子21チーム(六十三人)

一般男子42チーム(百二十六人)

女子 個人 (四人)

成績

(町関係分だけ抜粋)

▼中学個人女子七位 川畑幸美・八位 日高恭子

▼高校男子団体二位 加治木工業A・同女子優勝 加治木工業A・二位 加治木高校A

加中体育館

参加者

小学校35チーム・中学校41チーム・高校34チーム・一般34チーム(欠場4チーム)計八百二十二人

成績

(町関係分だけ抜粋)

▼小学生の部

準備優勝

加治木剣道スポーツ少年団A

中学生の部

優勝

けいせい館スポーツ少年団

ひたいに汗キラリ

寒風の中全員完走

町ジョギング・ウォーキング大会

天気があやぶまれた十二月十三日、町営運動場をスタート・ゴールとする平成九年度加治木町ジョギング、ウォーキング大会が開催されました。

成績 (三位まで)

▼小学男子三キロ 優勝 大木拓也・二位 岩切純平・三位 西皓大▼中学男子五キロ 優勝 木佐貫晋一・二位 柿元佑也・三位 石堂隼人▼高校男子五キロ 優勝 穆佐陽一郎・二位 南野健太▼一般五キロ 優勝 三尾野展行・二位 吉國明・三位 大園哲也▼高校男子十キロ 優勝 隈元一喜・二位 外山良和・三位 有馬恵輔▼一般男子十キロ 優勝 斜木学・二位 永野 将之・三位 中嶋紀光▼小学女子三キロ 優勝 濱島恵・二位 脇田由紀・三位 松崎仁美▼中学女子三キロ 優勝 山口玲奈・二位 衛守陽子・三位 脇田のぞみ▼一般三キロ 優勝 原口孝子
*ウォーキングの部
優勝 森永 都・二位 池田五夫・三位 小島宜行



いい汗かいてきますネ



寒風をついてスタート

一次審査を九月に、地区の二次審査が十一月に実施され、このたびの受賞となったものです。校長の上赤先生は「今年は、校舎改築工事等のために十分な栽培はできなかったが、子どもたちの努力と、職員の皆さんの取り組みが評価されたのでしよう」と話しておられました。今では、すっかり改修工事も終わり、来年に向けての準備がもう始まっているそうです。おめでとうございます。

花だん コンクール金賞

永原小学校

第二十九回南日本花だんコンクールが行われ、永原小学校がみごと金賞に輝きました。



来年もきれいに咲かせます

始良郡2月眼科在宅医表

1	渡辺眼科 クリニク	国分市中央1丁目 ☎45-6888
8	瀬戸山眼科医院	国分市中央1丁目 ☎45-0378
11	いちち眼科	国分市府中 ☎47-3618
15	西眼科医院	加治木町本町 ☎62-2526
22	椎原眼科医院	国分市広瀬2丁目 ☎47-2906

※在宅医の担当時間は、午前9時～午後5時までです。
原則として、緊急を要しない場合にはご遠慮下さい。

日曜・祝日 歯科救急診療 9時～15時
郡歯科医師会館口隣保健センター
(☎0995-58-4388・満辺町空港近く)

「魅力ある錦江湾を一枚の写真に」と鹿児島県が募集した、第三回『錦江湾フォトコンテスト』の入賞作品の表彰式が十二月二十二日、県庁で行われ三百



銀賞の辻さん

六十二点の作品の中から、銀賞に辻典昭さんの「釣りの手ほどき」が、銅賞に南愛子さんの「火山めぐり」、加治木町長賞に濱下正満さんの「港の夕景」がそれぞれ選ばれました。加治木町から金銀銅の三賞に二人が入賞したのは今回初めて。辻さんは「これからも美しい錦江湾を取り続け、後世に残していきたい。また写真の腕も磨いていきたい」と話していました。おめでとうございます。

錦江湾フォトコンテスト

銀賞に辻さん

銅賞に南さん

加治木町長賞は濱下さん



自慢ののどで全国大会出場

九州少壮吟詠家コンクール

松田アサ子さん



に東京で行われる全国大会出場のキップを手に入れました。

九州各県から八十六人が参加したこの大会には、鹿児島県から松田さんがただ一人推薦を受け出場。二回目の挑戦で、鹿児島県から初めて二十六年ぶりに入選されたものです。

練習を重ねられ、全国大会でも良い成績が残せるよう頑張ってください。

子どもたちと角ダコ作り

天神長寿会

「昔の遊びを伝えよう」と天神長寿会（長谷正治会長）は十二月二十七日、天神公民館で地域の小学生たちと角ダコ作りを楽しみました。

子供の遊びもテレビゲームが主流になった昨今、自分たちが昔から作ってきたタコを子供たちに教え、屋外でおもいっきり遊んでほしいと開かれたもので今年で二回目。なれないナイフを使いながらも無事完成し、みんな満足そうでした。



タコ作りに夢中



元気に育つてネ

コイの稚魚 二百キロを放流

網掛川漁協

網掛川漁協（小宮路東組合長）は十二月十八日、コイの稚魚二十センチ程度のもの二百キロを辺川、小田山、龍門滝下流など七か所に放流しました。

これは、「コイの繁殖保護」

を目的に毎年実施しているもので、いけすから出されたコイたちは「水を得た魚」のことわざどおり、元気に川に飛び込んでいきました。

まだ赤ちゃんゴイです。大きくなるまで見守ってください。

広域都市圏

劇・音楽会外

入場料・二日間通し券三百円

問い合わせ先

0995-62-2054

性応寺 安満さん

***蒲生町**
日時・二月二十三日～二十四日
場所・蒲生町通り及び中通り
内容・木市を中心に、各種の露店・地元商店の出店があり大勢の買い物客で賑わう

問い合わせ先
0995-52-0039
蒲生町商工会

***列島南下ゲートボール大会**
日時・二月二十五日～二十六日
場所・隼人町営運動場・日当山温泉公園
内容・九州各県から二百チームが集つ、県最大のゲートボール大会

問い合わせ先
0995-42-1111
隼人町役場商工観光課

***初午祭**
日時・二月十五日（日）
場所・鹿児島神宮境内
内容・全国に類例のない馬のマンボ踊り、揃いのハッピ姿に三味線、鉦、太鼓にあわせ午人も踊る

問い合わせ先
0995-273-2111
伊集院町役場経済課

***第二回「加音フェスタ」**
日時・二月二十八日～三月一日
場所・加治木町文化会館
内容・コンサート・人形劇・演

問い合わせ先
099-273-2111
伊集院町役場経済課

場の動

役職異

一月一日付（）内は旧課

▽総務課参事・堅山大支（議会事務局事務局長

▽議会議務事務局事務局長・宮原藤朗（耕地課長）

▽耕地課長・神村次郎（土木課課長補佐兼管理

係長）▽土木課課長補佐兼管理係長・古江弘美

（耕地課課長補佐兼工事係長）

加治木駅前団地建売住宅募集

鹿児島県住宅供給公社では、加治木駅前団地建売住宅の募集を行っています。

一、募集地

加治木駅前団地

二、公社分譲住宅の特典

★地域優良分譲住宅制度

資格に該当される購入者は、住宅金融公庫の低利な融資が割増で受けられ、鹿児島県から五年間利子助成金が交付されます。(利子助成金五年間、合計額一〇五万円―一三六万円)

★公社頭金補足制度

住宅金融公庫の低利な融資のほかに、譲渡価格の九割を限度に、六〇〇万円までの公社独自の低利な融資が受けられます。

三、建売住宅募集内容

募集戸数 八戸

分譲価格

三、三八二万円

四、四六九万円

(消費税込)

四、くわしくは：〒892

鹿児島市新屋敷一六―二

鹿児島県住宅供給公社

分譲促進課

☎099-226-1783

1 までお問い合わせください。



もしもの時に

全員加入しましょう
交通災害共済保険

掛金 一人年間五〇〇円

住民課で受付

サラリーマンの確定申告

サラリーマンで確定申告をする人の多くが、医療費控除や住宅取得控除などによって、所得税の還付を受けようとする方です。確定申告は二月十六日からですが、還付を受けるための申告書は、それより前でも提出できます。

▼還付申告はお早めに▲

サラリーマンの所得税は、毎月の給与やボーナスから源泉徴収され、毎年十二月に年末調整で清算されますので、多くのサラリーマンは一年間の所得税の納税が完了し、確定申告の必要はありません。しかし、次のような場合はサラリーマンでも確定申告をしなければならなかったり、申告をすれば還付を受けたりすることがあります。

●確定申告をしなければならぬ人

①給与の年収が二千万円を超える人

②給与所得や退職所得以外の所得金額(収入金額から必要経費を控除した後の金額)の合計額が二十万円を超える人

与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円以下であっても、それを含めて計算しなければなりません。還付金の受取は銀行などの口座への振込み、納税は口座からの振替納税が便利です。還付を受けるための申告書は、二月十六日より前でも受け付けています。早めに書いて、できるだけ郵送で提出するようにしてください。

③給与を二か所以上からもらっている人

④確定申告をすると所得税が還付される場合

⑤マイホームをローンなどで取得した場合

⑥多額の医療費を支払った場合

⑦災害や盗難にあった場合

⑧年の途中で退職し、再就職していない場合

⑨給与所得者の特定支出控除の特例の適用を受ける場合

⑩申告に当たっての注意点

⑪勤務先から交付された源泉徴収を添付してください

⑫控除の種類に応じて領収書や証明書などが必要です

⑬還付申告をする場合には、給与

務署まで。

☎0995-6212161

*還付申告特別会場

(始良町中央公民館)

★二月九日は 年金所得

★二月十日は 住宅所得控除

*還付申告センターは今年から

税務署に設置されますのでお

早めにお出かけください。

期間

三月二日から三月十六日まで

送ってきてもあわてずに対応



押し付け商法(ネガティブオプション)

注文していないのに業者が一方的に商品を送りつけてきて、代金の請求をするという商法です。

最近では代金引換郵便を利用するものもありますが、商行為となる場合を除いて、送られてきた商品を14日間、また業者に引き取りを請求した場合は7日間、適切に保管しておけば、その後は自由に処分することができます。

簡単に高収入は得られません



マルチ (まがい) 商法

「自分が商品を買って組織に加入し、さらに他の人を組織に加入させれば、紹介料も入るし多額の利益が得られる」などと誘って商品を買わせます。

医療用具、健康食品、化粧品などが多いようですが、新たな購入客や会員をそう簡単にみつけることはできません。

知人や友人の間で勧誘行為が行われ、トラブルが発生した場合、人間関係を損なう結果にもなりかねません。

突然、近寄って来た人に、「何か心配事があるのでは？」などと声をかけられたことはありませんか。それは「幸せになるために」などと、高価なつぼや印鑑などを売りつける商法です。また、悩み事のある人がチラ

シ広告を見て訪れると「運命を転換させる」とか、「あなたの業・因縁に問題はないか」など、さらに不安をおおります。鑑定を申し込むと三千円程度のはずが、高額な祈祷料が必要とされる場合があります。

靈感・開運商法

お布施や祈祷で悩みは解決しない

シリーズ訪問販売

パート4

悪徳商法にご用心

かしこい消費者に！

くらしの相談員

西山 民江 ☎63-2754

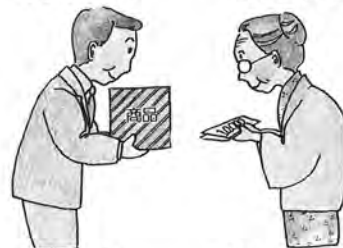
瀬戸口京子 ☎63-3184

契約とは……

契約の成立

売ります

買います



承たく

申し込み



自分の名義や印鑑を安易に貸したり、連帯保証人の申請け合いはやめましょう。

契約は人と人との約束事です。
売ります・買いますという約束が成立すると、原則的には解約することはできません。
契約は口約束でも成立します。

契約するときは

- 1 その商品が本当に必要かよく考えてから契約しましょう。
- 2 必要でなければ勇気をもってことわりましょう。
- 3 一人で決めないで家族や知人に相談しましょう。
- 4 契約書(又は申込書)の内容をよく読んで、確認してから印かんを押しましょう。

稿

寄

がんばっています

⑦

環境の問題を

みつめて

加治木町生活学校

一日の中で、ダイオキシンの問題を見聞きしない日はないほど、今、全国的に環境の問題が大きく浮上しております。そのニュースを聞いたときに私は思うのですが、「第七回牛乳パックの再利用を考える全国大会」に出席しました折りに、記念講演の中で山本コウタロー氏（音楽プロデューサー）が、地球誕生を一年に例え講演されました。様々な自然摂理の中で、人類が誕生したのは十二月も終わりのクリスマス頃にあたるという話から、コウタロー特有のユーモラスな語りが始まりました。

長い年月をかけ造られ、循環してきた自然をわずか五十年たらずの間に私たち人間は破壊してしまつた。地球に住む動植物の中で「自然を破壊」しているのは人間だけだと、コウタロー氏は強調して訴えられました。それは、文明の上にあぐらをかき、生活スタイルすべてに便利

性だけを求めてきたそのつけが今、私たちに問われているのではないだろうか。講演の一言一句すべて反省すべきことだと聞きながらも、でもこの豊かな生活の中でどうすべきなのか、今の生活を五十年ほど昔にもどすことができるのか、それは出来ないことだが、でも、使い捨てに慣れ豊かな生活の中で、無駄をはぶき循環型の生活スタイルを確立し、私たち一人ひとりが日々のくらしを見直す事が出来るなら、少しずつでもくい止めることができるのではないのでしょうか。

すでにご承知のとおり、あの恐ろしいダイオキシンは、私たちの家庭から排出される「ごみ」を焼却する時に生まれ、大気を汚染し、動植物を死に至らしめるとのことです。

私たちが、今や日常生活の中の生活必需品としているラップ・トレー・ビニール類・その

他化学加工物を燃焼する時にダイオキシンが発生すると言われております。したがって家庭でごみを焼却することはとても危険なことなのです。黒い煙が出る・嫌な匂いがする、それだけでなく本当に危険なことなのです。

よく、私たちは「そんなことを言つたつて」とか「私一人が気をつけたつて」と思いがちですが、未来の子どもたちに今より美しい環境を残してやるには、「私一人だけでも」の心がけが必要ではないでしょうか。家庭を守る主婦の私たち一人ひとりが気をつけていくことが大切なことだと思ひます。

現在生活学校では「出前学習」を実践しています。地域に向

き、廃油のせつけんづくりや糸で造る洗剤いらすのたわしづくりをしながら、ビデオを持ち込んで環境の問題などについて皆さんと共に考えようというものです。皆さん方の地域にもぜひお邪魔をさせて頂きたいと思ひます、是非、声をかけてください。

出前学習の連絡先は、町の社会教育課か生活学校（瀬戸口63-3184）までお電話ください。少人数でも夜でも結構です。そして、みんなで力を合わせて住みよい加治木の町をつくっていきましょう。

加治木町生活学校 瀬戸口京子

加治木山林組合総会についてお知らせ

（昭和三年六月十一日創立）

加治木山林組合の総会を左記のとおり開催いたします

記

- ・日時 平成十年二月八日（日）午後二時から
- ・場所 加治木町福祉センター
- ・関係者の方々は、御出席くださいますようお願い申し上げます。
- ・問い合わせ先 加治木町役場 総務課 管財係

☎ 0995-621211 内線（261）

今年の選挙

7月：参議院議員選挙
11月末：町長選挙

初午祭

2月15日（日）

リックの

さく さく

(咲く・作?)

明けましておめでとうございます。

皆様、お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。

去年の今ごろを思い出すと（反射的に、私のお腹はタイ料理を思い出しがっつきつくなつてきます）、里帰りの家族でにぎわってきたタイの電車の旅も、そして難民キャンプの人々の笑顔も浮かんできます。それに対して今年は、久しぶりに日本国内で年末年始、それに交通機関のラッシュとご対面というところでしょうか。

12月から1月にかけては（中国では確かもう少し遅かったと思いますが）、世界各国で家族や友人、そして近所の人たちも一緒になり時間を過ごす特別な季節だと思います。つい先日、垂之口自治会のそば打ちに誘われました。午前中に始まったそば打ちですが、朝仕事があった私がそこにいったのは、まさに中途半端というか丁度良いというようなタイミングでした。私に残されていた仕事は、（そばを3杯平らげる事は別にして）集まっていた子供たちと一緒にメガホンを持ち、近所の人たちに「みなさ～ん、いらっしゃい。いらっしゃい。んめえそばができちょっど。一杯は1万円、2杯目からはただですよ。」と叫びながら歩き回っていました。そうすると、家の玄関や裏庭やそして石垣の塀を飛び越えて（私には少なくともそう見えただす）、お年寄りから小さな子供を抱えたお母さんたちが命の次に大切なはしとどんぶりを小脇に抱えて公民館のごさを敷いた小さな庭に集まってきました。ここで、「そば」というミラクル麺が世界のあらゆる問題を解決する小道具のような気持ちさえ思いました。つまり、「そば打ち」が小さなきっかけとなり、この垂之口自治会のコミュニティーを一つにまとめる一事業でもあったと思います。それぞれ不安の多い今の世の中、一人一人にサポートを与えられるコミュニティーが不可欠である事をしみじみと感じました。（この場をお借りして、垂之口自治会のおいしいそばを打ってくれた人たちやおいしいおにぎりをにぎってくれた人たちに「ご馳走様でした」）

人はみんな家族、地域、学校、職場などいろいろなコミュニティーに属しています。そんな中で特に私が感じたのは、小さな小学生や中学生そして高校生たち、つまり近未来の大人たちが、こういう機会に人間関係について学んだり、自分がその所属するコミュニティーの一員である事を自覚する（もちろんそれぞれの個性を持っていることも大切です）ことの大切さです。

最後に、今回紹介した垂之口自治会のようなイベントがいろいろなコミュニティーで行われていることと思います。そのようなイベントがある際には是非、企画課のリチャードまで声をおかけ下さい。（食べ物の好き嫌いはありませんので、ご遠慮なく。ひひひ、..）



Hello everyone. I hope you all had a joyous and wonderful holiday season. This year, I stayed in Japan for all of December and January. In December I went to many children's parties and events. I was very pleased to help spread the Christmas Spirit around Aira county. One very good experience was a visit to the Wakaba Gakuen in Aira. This Christmas Party was organized by my friend Ian in Aira and the people at the Gakuen. We played games and sang many Christmas songs with the kids.

I hope this year brings you all happiness and success in whatever you do. If you see me around town please say "hello". Next month I want to include an English quiz in this article.

十鳩椋

町民の入館を 期待したい

椋鳩十文学記念館では、平成九年に三つの大きなイベントを行った。

○椋鳩十没後十年特別展

○児童文学セミナー in 加治木

○椋鳩十追悼音楽会であった。

これらの企画開催にあたっては、いろいろな立場から多くの方がたのお力添えをいただき、それぞれ開催の趣旨を生かすことが出来、そのねらいを達することが出来たことに對し、主催側として心から感謝とお礼のこたばを申しあげたい。

ところで、これらのイベントに對し町民の入館、参加状況はどうであったかについて概略述べてみたい。

児童文学セミナーは、全国的規模の大会であり約四〇〇名の参加があったが、内容がやや専門的色彩を帯びていたため、町民の参加に多くの期待をかけることは控え目であった。それでも約六〇名の参加があった。

次に、椋鳩十追悼音楽会についてである。約三〇〇名の参加があり、うち二〇〇名前後は町内の方がたであり、力づくう

れしく思われた。

椋鳩十没後十年特別展の入館状況について述べてみたい。約一か月半にわたる長期の展覧会であった。町民の入館数は記録によると、わずかに十八名。

主催の文学記念館としては、町人口が二万三、五〇〇人である。少なくとも一、〇〇〇人くらいは入館してほしかった。

個人個人、家族ぐるみの参加もさることながら、学校が学年・学級単位で入館し勉強してほしかった。椋作品は教科書にも出ていることだし、文学記念館がここにあるのだから、もつと関心と学習意欲を持って勉強する手だてはないものだろうか。身近かな施設を生かし、機会をとらえてプラス志向で対応する方法はないものだろうか。

このような考え方は、PTAをはじめ各種団体グループにも望みたい。

新しい年は、新しい目で文学館の存在意義を考えていただきたく、切に願うものであります。椋鳩十文学記念館長 榎蘭高雄

竜門句会

山眠り雲の自在をゆるしけり

白尾 澄子

倒影の島動かせり鳴の子ら

川畑 克己

冬の霧重き髪持つ補習の子

園田 千秋

落葉には色それぞれの音のあり

岩田 美知江

喜寿の娘白寿の母よ花ひいらぎ

川崎 黒兎

子ら散りしより水鳥の孤独かな

神村 洋子

友の計を今知らざる予後の秋

竹山 洋子

小春日や飛行機雲の走り書き

稲恒 寧夫

馴れてきし炊事万端餅料る

加藤 白柳

ロケットのごと大根は地を蹴り

恒吉 斗南

縄文の遺跡の目覚め石路の花

犬童 利春

角を曲る缶蹴りの音秋惜しむ

柳田 稔

風に乗り流れにまかす紅葉かな

高木 正男

飛行機派列車派の旅年惜しむ

脇本 星浪

2月在宅医表

1	壱岐医院 (溝辺町)	溝辺町有川812 ☎59-2019
8	松下亮治内科	加治木町新生町 130-1 ☎62-0084
11	鬼丸小児科	加治木町新生町 127 ☎62-0308
15	壱岐内科	加治木町諏訪町 196 ☎62-2222
22	松本外科・胃腸科	加治木町木田724 ☎63-1911

1. 在宅医は往診はいたしません。
2. 在宅医の担当時間は午前9時から午後5時までです。
3. 原則として緊急を要しない一般の患者はご遠慮下さい。

★一定規模以上の有料駐車場の設置届の受理及び検査
都市計画区域内に駐車供用面積五百㎡以上の有料駐車場（月極駐車場を除く）を設置する場合の設置届の受理及び検査等の事務

シリーズ

④

県から町へ

権限を委譲

来年4月1日から

今月号は「駐車場法」の移譲事務についてお知らせします。

東吉原 三万円
永原 五万円
辺川中 五万円
伊部野 三万円
小陣 三万円

山元 トシ子
(夫 四男80)
東 エミ子
(夫 藤男81)
下猶 カズ子
(夫 末夫78)
前田フヂ子
(夫 辰雄80)
定栄 佐二
(母 ムラ97)

御寄付

香典返しのかわりに
御寄付をいただきまし
た。厚く御礼申し上げ
ますとともに故人のご
めい福をお祈りいたし
ます。(内は故人

社会福祉協議会へ

竹下 十万円
葛蒲谷 二万円
南塩入 五万円
西反土後 五万円
今町 三万円
日本山黒川 三万円
新中 三万円

岩下 豊子
(夫 秀雄78)
享保 アツ子
(夫 孝70)
鬼塚 秀樹
(子 直久24)
鳥丸 泰弘
(妻 當美子62)
松田 フク
(夫 利男75)
今吉 年雄
(妻 フジエ70)
是枝 勉
(妻 ハツミ73)

小陣 二万円
永原 五万円
葛蒲谷 二万円

定栄 佐二
(母 ムラ97)
東 エミ子
(夫 藤男81)
享保 アツ子
(夫 孝70)

▽十二月二十日までの御寄付を
掲載いたしました。(年齢は満
年齢)

★記事訂正とおわび

十二月号の御寄付期日欄
九月二十日↓十一月二十日に
おわびして訂正いたします



今月はお休みです



うぶ声



出生児 保護者 自治会
前田 光 文武 弥 勒
森蘭里穂 卓郎 南塩入
押川優紀 清輝 弥 勒
田丸滉大 郁夫 東諏訪
丸山紗輝江 新一 萩原

福元彩加 浩二 上木田
岩崎冬馬 玄次 曲 田
須田歩美 剛志 東塩入
大熊翔登 賢一 垂之口
上枝歩夢 学 岩原西三区
▽十二月二十日までに住民台帳
に記載された方を掲載いたしま
した。



老人クラブ連合会へ

とんはん

料理名 とんはん
材料費 (4人前) 700円
所要時間 30分~40分

【材 料】(4人前)

- ① [米 4合・豚 三枚肉 80g]
② [こんぶ、かつおぶし、酒、醤油] 少々
[みりん、塩]
③ [しいたけ 15g、玉子 2個]

★小ねぎ、味付のり、しょうがは、自分の好みの分量で

【作り方】

1. 米に「しいたけ」のもどし汁と、三枚肉の細切れと、②を少しだけ入れて普通に御飯をたく。
 2. 千切りにした「しいたけ」と②を入れ、水をたくさん入れ、かけ汁を作る。
 3. 2. から取りだした「しいたけ」は甘辛く煮つける。
塩と砂糖を少々入れた玉子焼きのきんしを作る。
小ねぎの小口切り、しょうがの千切りを作る。
- ※ 丼に豚入り御飯を入れ、3. の具を乗せ、2. の汁をかけて食べます。

今月は、「手作り『米料理』コンテスト」優秀作品で、小濱牧喜子さんの「とんはん」を紹介します。
お好みにより、キムチの素を少々のもせても美味しそうです。



小濱さん



心も体も温まりそうですネ

あなたも作ってみませんか?

シリーズ

2